

たかだわじゅう
52. 高田輪中のまちなみ



石垣のまちなみ



登下校風景

DATA

所在地 大分市 常行、南、丸亀

概要

大野川と乙津川に囲まれた高田地区は、かつて洪水常襲地帯でした。そのため先人たちは、堤防を築き、高い石積みの基礎の上に住宅の建て、更には水防共同体として地域の連携意識を育てるなど、特徴的な文化の佇む集落を形成してきました。

自然との共生が唱えられる中で、水と闘い共に生きてきた輪中の知恵が、高田地区の石垣のまちなみに見られます。

*「輪中」とは川に囲まれた三角州などの低い土地にある家屋や農地を洪水から守るため、周囲を堤防で囲んだ地域のことです。

MAP

